



ひえつ

日本の心のふるさとを守り育てる
飛越協議会

飛越協議会TOP

サポーター通信 お問い合わせ サイトマップ



“ノーベル街道”と飛越地域

日本でこれまでノーベル賞を受賞した24人のうち、2015年に受賞した梶田隆章さん(物理学賞)、2002年に受賞した小柴昌俊さん(物理学賞)、田中耕一さん(化学賞)を含む5人の方が、国道41号の富山～高山間のわずか90kmの沿線にゆかりがあることから、この国道41号が『ノーベル街道』として注目を集めるようになりました。

飛越地域は、この『ノーベル街道』により南北に結ばれた『ノーベル賞受賞者ゆかりの地』でもあるのです。



飛驒男と
越子の



「ノーベル街道」って何？

飛越地域ゆかりの 5人のノーベル賞受賞者

田中 耕一さん
(2002年ノーベル化学賞)
●富山県富山市生まれ。高校までを富山市で過ごす。
●『たんぱく質などの生体高分子を簡単に特定する手法を開発』

利根川 進さん
(1987年ノーベル生理学・医学賞)
●小学校1年生～中学校1年生までを富山県大沢野町(現富山市)で過ごす。
●『多様な抗体を生成する遺伝的原理の解明』

梶田 隆章さん
(2015年ノーベル物理学賞)
●富山市に在住(1995年～1999年)し、岐阜県神岡町(現飛驒市神岡町)の「スーパーカミオカンデ」で研究に従事。
●ニュートリノの「振動」という現象を発見し、ニュートリノの質量の存在を実証。

小柴 昌俊さん
(2002年ノーベル物理学賞)
●1968年から約5年間岐阜県神岡町の鉱山内で素粒子観測を実施。

越子: ねえ知ってる？日本人で24人しかいないノーベル賞受賞者の中で、私達の飛越地域にゆかりのある人が5人もいるんだって！

飛驒男: それはすごいね。5人っていうと…。

越子: まず富山県南部地域では、2002年に化学賞を受賞した田中耕一さん、それに1987年に生理学・医学賞を受賞した利根川進さんでしょう？それに、2015年に物理学賞を受賞した梶田さんも富山市にゆかりがあるのね。

飛驒男: あと飛驒地域では、同じく2002年に物理学賞を受賞した小柴昌俊さんに、2000年に化学賞を受賞した白川英樹さんもいるね。

越子: この人たちにゆかりの場所が、この飛越地域を縦断する国道41号沿線、富山～高山間のわずか90kmに集中しているわけよ。

飛驒男: なるほど！それでこの国道41号が『ノーベル街道』として注目されるようになったんだね。

越子: 飛越にまつわる思い出として、高校卒業までの18年間を富山市で過ごした田中さんは、「富山県人としての粘り強い気質が大きく影響した。」「立山連峰を見ていると心が落ち着く。」とお話になっているわ。ふるさとを愛し、誇りに思う気持ちが伝わってくるわね。

飛驒男: 小柴さんも、岐阜県神岡町(現飛驒市神岡町)の素粒子研究施設『カミオカンデ』の建設・実験を振り返って、「地域の人たちに愛されるようお願いを込めて、施設の名前に『カミオカ』の名をとり『カミオカンデ』としたところ、地元の皆さんに自分のもののように可愛がっていただき、本当に気持ちよく仕事を続けることができました。」と、お話しになっているよ。梶田さんも、『カミオカンデ』を研究拠点としてニュートリノの振動現象を発見したんだ。

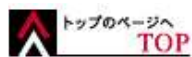
越子: 飛越地域って、豊かな自然や人情味溢れる風土でノーベル賞受賞者の皆さんを温かく育み、その研究を見守ってきたのね。やっぱり飛越地域は『ノーベル街道』の名にふさわしいって思うわ！

飛驒男: ポクも飛越生まれの飛越育ちなんだけど、大きくなったらノーベル賞取れるかなあ？

越子: あなたはその前にやることがあるんじゃない？

- 1983年から岐阜県神岡町(現
飛騨市神岡町)の『カミオカン
デ』にて「陽子崩壊」観測開始。
●『超新星爆発からのニュートリノ
の検出に成功』

- 白川 英樹さん
(2000年ノーベル化学賞)
●小学校3年生～高校3年生まで
を岐阜県高山市で過ごす。
●『導電性高分子(電気を通すプ
ラスチック)の開発に成功』



[トップページに戻る](#)

Copyright(C) 2000-2008 日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会 All Rights Reserved.